

会計検査院長談話

令和4年11月7日

- 1 本日、この1年間の会計検査の結果である令和3年度決算検査報告を岸田内閣総理大臣に手交いたしました。
- 2 令和3年度決算検査報告では、我が国の社会経済の動向や財政の現状等を踏まえて、特に、国民の関心の高い事項等に関する検査の結果として、新型コロナウイルス感染症対策関係経費等に関するもの（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、雇用調整助成金等、Go To トラベル事業、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（病床確保事業）等に関する指摘事項、予算の執行状況に関する検査の状況等）を掲記しているほか、社会保障、国民生活の安全性の確保、情報通信（IT）などの様々な分野で、制度・事業の効果、予算の適正な執行、会計経理の適正な処理、資産、基金等のストックの有効活用など多角的な着眼点からの指摘や問題提起について多数掲記しております。
- 3 本年も、新型コロナウイルス感染症による検査業務への一定の影響はありましたが、会計検査院では、昨年引き続き、実地検査に加えてWeb会議等の形式を活用するなどして在庁検査を行い、また、デジタルデータやITツールの活用を進めるなど更なる工夫を重ねることにより、会計検査をより効率的かつ効果的に行うよう努めて参りました。
- 4 今後も、国民の皆様の御期待に応える検査に努め、会計検査院の使命を的確に果たして参ります。